

# 設計説明書

## 1 建築物

行為の区分	行為の概要							※摘要
1 地上に設ける建築物 (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転			申請部分	申請以外の部分	合計			
	敷地面積						m <sup>2</sup>	
	建築面積	[ ]	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	[ ]		m <sup>2</sup>	
	建ぺい率							% $\frac{\text{建築面積}}{\text{敷地面積}} \times 100$
	延べ床面積	[ ]	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	[ ]		m <sup>2</sup>	
	外壁の後退距離 (壁面最近線)	道路	[ ]	m	m	[ ]		m
		隣地	[ ]	m	m	[ ]		m
	平均地盤面からの高さ	[ ]	m	m	[ ]		m	
	建築物が接する地盤面の高低差	[ ]	m	m	[ ]		m	
	用途	(ア)専用住宅 (イ)共同住宅 ( )戸 (ウ)その他 ( )						
	構造	(ア)木造 (イ)鉄筋コンクリート造 (ウ)その他 ( ) 階建 棟						
	材料の種別仕上げ及び色彩	屋根						
		外壁						
	緑地の面積			m <sup>2</sup>	内訳	自然の緑地		m <sup>2</sup>
						人工の緑地		m <sup>2</sup>
	緑地率							% $\frac{\text{緑地の面積}}{\text{敷地面積}} \times 100$
植栽の内訳	植栽区分	高木	中木	低木	合計	その他		
	新植	本	本	本	本			
	既存	本	本	本	本			
	移植	本	本	本	本			
	計	本 (必要本数)	本 (必要本数)	本	本 (必要本数)			
2 地下に設ける建築物 (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転			申請部分	申請以外の部分	合計			
	敷地面積						m <sup>2</sup>	
	地下占用面積		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>	
	延べ床面積		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>	
	用途							
	構造	(ア)鉄筋コンクリート造 (イ)その他 ( )						
3 仮設の建築物 (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転			申請部分	申請以外の部分	合計			
	敷地面積						m <sup>2</sup>	
	建築面積		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>	
	延べ床面積		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>	
	平均地盤面からの高さ		m	m			m	
	用途							
	構造	(ア)木造 (イ)鉄筋コンクリート造 (ウ)その他 ( )						
	設置期間	年 月 日から 年 月 日まで						
建築物を除却した場合の跡地の処理方法								

- 備考
- 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。
  - 2 行為の概要の欄の [ ] は、従前の建築物の面積、距離、高さ及び高低差をそれぞれ記入してください。
  - 3 色彩については、色名を記入し、ペイント塗装の場合は、日本塗料工業会の色見本帳の色番も記入してください。
  - 4 自然の緑地の面積には、水面部分の面積も含めてください。
  - 5 建築物を除却した場合の跡地の処理方法については、埋戻し、植栽、張芝、種子吹付け等の事項を具体的に記入してください。
  - 6 変更の場合は、変更部分について変更前のもものと変更後のものとが対比できるように2段書きとし、変更前のは朱書で上段に、変更後のものは黒書で下段にそれぞれ記入してください。
  - 7 ※の欄は、記入しないでください。

# 設 計 説 明 書

## 2 工作物

行 為 の 区 分	行 為 の 概 要				※摘要	
1 地上に設ける工作物 (ア) 新築 (イ) 改築 (ウ) 増築 (エ) 移転	工 作 物 の 種 類					
	敷 地 面 積		㎡			
	用 途					
	構 造		(ア)木造 (イ)鉄骨造 (ウ)石造 (エ)ブロック造 (オ)鉄筋コンクリート造 (カ)その他 ( )			
			申 請 部 分	申 請 以 外 の 部 分		合 計
	規 模	水 平 投 影 面 積	( ) ㎡	㎡		( ) ㎡
		平 均 地 盤 面 か ら の 高 さ	( ) m	m		( ) m
		そ の 他	( )	/		( )
	外部の材料の種類, 仕上げ及び色彩					
2 地下に設ける工作物 (ア) 新築 (イ) 改築 (ウ) 増築 (エ) 移転	工 作 物 の 種 類					
	用 途					
	構 造		(ア)鉄筋コンクリート造 (イ)その他 ( )			
	規 模	水 平 投 影 面 積	㎡	㎡		㎡
		そ の 他				
3 仮設の工作物 (ア) 新築 (イ) 改築 (ウ) 増築 (エ) 移転	工 作 物 の 種 類					
	用 途					
	構 造		(ア)鉄骨造 (イ)木造 (ウ)その他 ( )			
	規 模	水 平 投 影 面 積	㎡	㎡		㎡
		平 均 地 盤 面 か ら の 高 さ	m	m		m
	模 式	そ の 他				
	設 置 期 間		年 月 日 から 年 月 日 まで			
工 作 物 を 除 却 し た 場 合 の 跡 地 の 処 理 方 法						

- 備考 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。  
 2 行為の概要の欄の〔 〕は、従前の工作物の面積、高さ等をそれぞれ記入してください。  
 3 敷地面積は、当該行為が建築物の敷地内で行われるものである場合は建築物の敷地面積を記入し、当該行為が建築物の敷地外で行われるもので敷地面積を算定しがたい場合は記入する必要はありません。  
 4 水平投影面積は、すべての工作物について記入してください。なお、工作物が2以上の場合は、個々の面積と合計面積を記入してください。  
 5 規模のうちその他については、長さ、幅員、面積、容積等を記入してください。  
 6 色彩については、色名を記入し、ペイント塗装の場合は、日本塗料工業会の色見本帳の色番号も記入してください。  
 7 工作物を除却した場合の跡地の処理方法については、埋戻し、植栽、張芝、種子吹付け等の事項を具体的に記入してください。  
 8 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものとが対比できるように2段書とし、変更前のものは朱書で上段に、変更後のものは黒書で下段にそれぞれ記入してください。  
 9 ※の欄は、記入しないでください。

## 設 計 説 明 書

### 3 建築物等の色彩の変更

行為の区分	行 為 の 概 要		※ 摘 要
建 築 物 等 の 色 彩 の 変 更	色彩の変更を行う 建築物等の用途		
	色 彩 の 変 更 を 行 う 部 分		
	現 在 の 色 彩		
	変 更 後 の 色 彩		
	色 彩 の 変 更 を 行 う 面 積		
	色 彩 の 変 更 に 用 いる 材 料		

- 備考 1 色彩については、色名を記入し、ペイント塗装の場合は、日本塗料工業会の色見本帳の色番も記入してください。
- 2 色彩の変更に用いる材料については、具体的に記入してください。
- 3 ※の欄は、記入しないでください。

## 設 計 説 明 書

4 宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更、水面の埋立て若しくは干拓又は土石類の採取

行為の区分	行為の概要						※摘要
1 宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更	行為場所	(ア)建築物の敷地内 (イ)建築物の敷地外			行為面積	㎡	
	隣接地の現況						
	跡地の処理方法						
	生ずる法面の最高 <sup>のり</sup>	m					
	移動土量	切土	m <sup>3</sup>		客土	m <sup>3</sup>	
		盛土	m <sup>3</sup>		その他( )	m <sup>3</sup>	
	緑地の面積	㎡		内訳	自然の緑地	㎡	
					人工の緑地	㎡	
	緑地率	$\% \left( \frac{\text{緑地の面積}}{\text{敷地面積}} \times 100 \right)$					
	植栽の内訳	植栽区分	高木	中木	低木	合計	その他
新植		本	本	本	本		
既存		本	本	本	本		
移植		本	本	本	本		
計		本 <small>(必要本数)</small>	本 <small>(必要本数)</small>	本	本 <small>(必要本数)</small>	本 <small>(必要本数)</small>	
2 水面の埋立て又は干拓	水面面積	㎡		埋立又は干拓面積	㎡		
	隣接地の現況						
	跡地の処理方法						
	施工方法						
3 土石類の採取	採取区域面積	㎡		採取量	m <sup>3</sup>		
	採取土石類の種類						
	採取方法	(ア)横坑掘 (イ)縦坑掘 (ウ)斜坑掘 (エ)その他( )					
	運搬方法						
	跡地の処理方法						

- 備考 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。ただし、行為の区分の欄は、2以上の行為を併せて行う場合は、それぞれについて記入してください。
- 2 土地の形質の変更は、宅地の造成、土地の開墾、土石類の採取及び水面の埋立て又は干拓以外のものも含まれます。
- 3 隣接地の現況については、林地、伐採跡地、草生地等の別及び木竹、建築物、工作物等の有無を記入してください。
- 4 跡地の処理方法については、裸地、砂利舗装、埋戻し等及び法面の芝、コンクリートブロック擁壁、放置等について具体的に記入してください。
- 5 移動土量のうちその他については、掘削、搬出等を具体的に記入してください。
- 6 採取方法のうち(エ)その他については、採取方法を具体的に記入してください。
- 7 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものとが対比できるように2段書とし、変更前のものは朱書で上段に、変更後のものは黒書で下段にそれぞれ記入してください。
- 8 ※の欄は、記入しないでください。

## 設 計 説 明 書

### 5 木竹の伐採

行 為 の 区 分	行 為 の 概 要				※摘要		
1 森林地内の伐採	伐採の目的						
	伐採区域面積					m <sup>2</sup>	
	伐採区域の林相	(ア)針葉樹林 (イ)広葉樹林 (ウ)針広混交樹林 (エ)竹林					
	疎密度						
	伐採区域の林齢 又は林齢範囲						
	伐採量					m <sup>3</sup>	
	伐採主要樹種						
	伐採方法	(ア)皆伐 (イ)択伐					
	伐採後の跡地の 処理方法						
	隣接地の現況						
3 森林地外の伐採	(1) 集 団 を な す 木 竹 の 伐 採	伐採の目的					
		伐採区域面積					m <sup>2</sup>
		伐採区域の主要樹種					
		伐採区域の樹齢 又は樹齢範囲					
		伐採量	本				m <sup>3</sup>
		伐採主要樹種					
		伐採方法	(ア)皆伐 (イ)択伐 (択伐率 %)				
		伐採後の跡地の 処理方法					
		隣採地の現況					
	(2) の 伐 採 の 独 立 の 木 竹	伐採の目的					
		樹種名	樹 齢	樹 高	胸高直径	本 数	
			約 年	m	m <sup>2</sup>	本	

- 備考 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。  
 2 疎密度は、樹冠投影面積の10分比で表わしてください。  
 3 伐採後の跡地の処理方法については、植栽、放置等を記入してください。  
 4 隣接地の現況については、土地の状況並びに木竹、建築物、工作物等の有無及びその種類等を記入してください。  
 5 「択伐率」とは、伐採区域における総材積に対する択伐量をいう。  
 6 「胸高直径」とは、1.3メートルの地上高の幹直径をいい、双幹以上のものは、各幹直径の合計の70パーセントを採り、1.3メートルのところは枝の分れ目であるときは、すぐ上部の寸法を採用してください。  
 7 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものが対比できるように2段書とし、変更前のものは朱書で上段に、変更後のものは黒書で下段にそれぞれ記入してください。  
 8 ※の欄は、記入しないでください。

## 設 計 説 明 書

### 6 屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積

行 為 の 区 分	行 為 の 概 要		※ 摘 要	
屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積	堆積する土石、廃棄物又は再生資源の種類			
	隣 接 地 の 現 況			
	規	堆 積 面 積		m <sup>2</sup>
		堆 積 物 の 高 さ		m
	模	そ の 他		
		堆 積 の 期 間		年 月 日から 年 月 日まで
	堆積物撤去後の跡地の処理方 法			

- 備考
- 1 該当の符号を○で囲んでください。
  - 2 隣接地の現況については、林地、伐採跡地、草生地等の別及び木竹、建築物、工作物等の有無を記入してください。
  - 3 規模については、行おうとする堆積の最大の値を記入してください。
  - 4 堆積の期間については、堆積に着手する日から堆積物を撤去し、跡地の処理を完了する日までを記入してください。
  - 5 堆積物撤去後の跡地の処理方法については、植栽、張芝、種子吹付け等の事項を具体的に記入してください。
  - 6 変更の場合は、変更部分について変更前のもものと変更後のものとが対比できるように2段書とし、変更前のは朱書で上段に、変更後のものは黒書で下段にそれぞれ記入してください。
  - 7 ※の欄は、記入しないでください。